



学力向上のための「8つの教育施策」について



平成 29 年 12 月

海老名市教育委員会



1

少人数学級・少人数指導のための教員を配置します

ひとりひとり子どもの学力に応じたきめ細かな指導を目的として、市費で非常勤教員を配置して、35人以下の学級や少人数での学習指導を行っています。



他市に先駆けて、平成17年度からスタートし、平成29年度は市費で小学校4名、中学校2名の非常勤教員を配置しています。

平成29年度予算
1,711万2千円

2

補助指導員を配置します

個別の学習支援が必要な子どものために、市費で教員資格を持つ指導員を配置しています。



平成23年度から、小中学校全19校に各校1名の指導員を配置して、子どもの特性や学力に応じた、個別の学習支援を行っています。

平成29年度は、小学校347名、中学校90名の子どもへの支援を行っています。

平成29年度予算
3,147万4千円

3

教員の研修・研究を推進します

教員の指導力を高めるために、指導法講座などの研修会を開催しています。また、各学校での校内研究会をサポートしています。



毎年、小学校2校、中学校1校を研究校に指定し、研究の成果を次の年に「ひびきあう教育研究発表大会」で報告しています。

平成29年度の研究校は、有馬小学校、杉久保小学校、大谷中学校です。

平成29年度予算
1,321万3千円

4

コンピュータ利用教育を推進します

わかりやすく楽しい授業を展開するために、コンピュータを利用した教育を進めています。



各学校に、学習用パソコン、大型テレビ、電子黒板、プロジェクタなどのICT機器を整備し、活用しています。

平成29年度は、中学校2年生の教室に電子黒板機能付きプロジェクタを設置しました。

平成29年度予算
1億8,995万7千円

5

授業の改善に取り組んでいます

平成27年度より、「授業改善の手引き」を活用して市内の全小中学校で、授業の改善に取り組んでいます。



教育委員会の指導主事が学校を訪問して、よりよい授業づくりについて全教職員と話し合いをしています。

平成29年度は、小学校6校、中学校3校を訪問しています。

6

「学校応援団」による学校支援を進めています

平成27年度より、小学校に「学校応援団」を設置し、地域の方々の力により子どもと学校を支援する取組を進めています。



「学校応援団」では、学校の授業や行事の支援、学校環境の整備などを行うとともに、「えびなっ子スクール」や「あそびっ子クラブ」などの運営を行っています。

平成29年度予算
4,032万9千円

7

学習支援ボランティアを充実します

学習支援ボランティアを募集し、授業での学習支援や「まなびっ子クラブ」を行っています。



これまで、多くの学習支援ボランティアに、子どもや学校を支援していただいています。

平成29年度の派遣回数は、10月末現在で1,458回です。

平成29年度予算
240万5千円

8

小中一貫教育を推進します

平成29年度から全中学校区で、子どもを9年間で指導・支援する「小中一貫教育」に取り組んでいます。



中学校区ごとに共通の目標を定め、その達成にむけて小中学生の交流や教職員の話し合いなどを進めています。

平成29年度予算
1,813万9千円